

東京から南に約1,000km離れた太平洋上に位置する大小30余りの島々から構成される
小笠原諸島は、今年6月、日本に復帰してから50周年を迎えます。
本シンポジウムでは、我が国の排他的経済水域の約3割という広大な海域を確保する
小笠原諸島の位置付け等を確認するとともに、戦前から戦後を中心とした
小笠原諸島の歴史を振り返り、今後的小笠原諸島の一層の振興を展望します。
皆様のご参加をお待ちしております。



父島・二見湾遠望

概要

主催者挨拶

ガイダンス 菊地 俊夫 首都大学東京 都市環境学部教授
「小笠原諸島の概要、振興開発とその取り組みを中心として」

基調講演① 石原 俊 明治学院大学 社会学部教授
「小笠原諸島が歩んできた特異で複雑な歴史」

基調講演② 山田 吉彦 東海大学 海洋学部教授
「海洋資源保全等の面において小笠原諸島が果たす役割」

パネルディスカッション
コーディネーター／菊地 俊夫
パネリスト／石原 俊、山田 吉彦、森下 一男（東京都小笠原村 村長）

申し込み方法 ※申込期間 4月9日(月)～5月9日(水)

HPの場合：下記URLよりお申込みください。

http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/guidance/50th_anniversary.html

FAXの場合：下記番号へ必要情報（シンポジウム名、氏名、住所、連絡先）を明記のうえお申込みください [FAX] 03-6804-1348

※応募者多数の場合は抽選となります

連絡方法

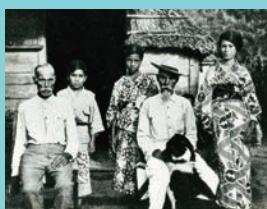
応募時のご連絡先にメールまたはFAXをお送りします。

その他

都議会議事堂1階都政ギャラリーにて、小笠原諸島についてのパネル展示を行います。
詳細は裏面をご覧ください。

戦前父島・聖ジョージ教会での欧米系
島民結婚式の様子

戦前の母島北村集落



写真提供／小笠原村教育委員会

50周年記念シンポジウム 小笠原諸島返還

平成30年 5月 24日(木) 午後1時～午後5時
午後0時30分開場

【開催場所】
東京都議会議事堂1階都民ホール

入場無料
※事前申込制



主催：東京都 共催：小笠原村 後援：国土交通省 実施：東京都小笠原支庁
問合せ先：シンポジウム事務局 [TEL] 03-6804-1346 [FAX] 03-6804-1348
[E-MAIL] ogasawara@astem-co.co.jp [受付時間] 9:00～17:00



菊地 俊夫氏

首都大学東京 都市環境学部教授
小笠原諸島振興開発審議会会長（国交省）



●分野（研究内容）等

地理学、観光地理学

・地域の自然や文化や産業等の観光やツーリズムへの活用に関する研究、並びに持続的農村システムの構築等

●主な著作

『自然ツーリズム学』 菊地俊夫・有馬貴之 編著 朝倉書店／2015年

『ツーリズムの地理学』 菊地俊夫著 二宮書店／2018年

石原 俊氏

明治学院大学
社会学部教授



●分野（研究内容）等

歴史社会学、地域社会学、島嶼社会論

・小笠原群島と硫黄島の島民の歴史経験に関する研究

●主な著作

『近代日本と小笠原諸島—移動民の島々と帝国』 平凡社／2007年

『〈群島〉の歴史社会学—小笠原諸島・硫黄島、日本・アメリカ、そして太平洋世界』 弘文堂／2013年

山田 吉彦氏

東海大学
海洋学部教授



●分野（研究内容）等

海洋政策学、公共経済学、地域経済学

・海洋安全保障及び国境離島研究、並びに

離島振興と海洋安全に関わる事象の調査・研究等

●主な著作

『日本の国境』 新潮社／2005年

『日本は世界4位の海洋大国』 講談社+a新書／2010年

『国境の人々 再考・島国日本の肖像』 新潮社／2014年

森下 一男氏

東京都小笠原村 村長



●略歴

小笠原村商工会青年部長

小笠原村観光協会副会長

小笠原村村議會議員(2期)

小笠原村村長(2003年7月～)

小笠原諸島に関するパネル等の展示を行います。

- ・小笠原の概要、地理、歴史の紹介
- ・小笠原の歴史等の写真
- ・小笠原の観光案内
- ・小笠原の特産品の紹介

日程：5月24日(木)～5月30日(水)

時間：9時～18時(初日は12時から、最終日は16時まで)

場所：都議会議事堂1階 都政ギャラリー



アクセス



東京都議会議事堂 1階都民ホール

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

最寄り駅▶JR「新宿駅」(西口から徒歩約10分)、

都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」

A3出口から徒歩1分、

新宿駅西口(地下バスのりば)から都営バス又は京王バス(都庁循環)「都議会議事堂」下車